

周囲を気にせず

農薬を散布していませんか？

農薬飛散による被害の発生を防ぐために

住宅地に隣接した家庭菜園・市民農園を含む農地の管理にあたっては、住民や子ども等への健康被害が生じないように、できるかぎり農薬を使用しない管理を心がけましょう。

また、農薬を散布せざるを得ない場合でも、農薬の飛散防止に努めるなど、十分な配慮をしましょう。

注：農薬には、作物や樹木に発する病害虫の防除を目的に散布するもの他に、ガーデニングや家庭菜園用のスプレー式の殺虫剤や殺菌剤、芝生等の雑草対策で使用する除草剤なども含まれます。

農薬を使用する時は・・・

- ・飛散しない農薬を選ぼう
- ・農薬の飛散防止に最大限の配慮をしよう
- ・農薬はラベルに記載された内容に従って使おう
- ・農薬の使用履歴を記録し、保管しよう
- ・むやみに農薬の現地混用は行わない

★農薬使用の回数と量を減らそう★

病害虫や雑草の
早期発見に努めよう

観察や見回りなどを行い、病害虫や被害の早期発見に努めましょう。

病害虫の発生や被害を確認せずに定期的に農薬を散布することは止めましょう。業者に作業を依頼している場合も同様です。

農薬のスケジュール
散布はやめよう

連作を避け、適切な
土作りや施肥を行おう

同じ土地に、続けて同じ作物を栽培する（連作）と、病害等が発生しやすくなるので避けましょう。また、窒素肥料が過剰になると病害虫が発生しやすくなる傾向があるので、注意しましょう。

住宅地のそばの農地や家庭
菜園などにおいても、防虫
網の活用などの物理的防除
に取り組みましょう。

農薬以外の物理的防除
を優先して行おう

川西市 産業振興課